

『第 8 期中央区自立支援協議会』

地域移行・地域定着部会  
報告書（案）

令和 8（2026）年 2 月

中央区自立支援協議会 地域移行・地域定着部会 委員名簿

種別	氏名	所属団体
医療関係	たの おおひと 田野 大人	公益社団法人中央区医師会
事業者	なかの まゆみ 仲野 真由美	NPO法人つつじ 理事長
医療関係	とどころ あやこ 戸所 綾子	公益社団法人日本橋医師会
障害者団体	むろた かずまさ 室田 和正	中央区精神障害者家族会
民生委員	うえだ あけみ 植田 朱美	中央区民生・児童委員協議会
区民公募	あまの やちよ 天野 八千代	区民公募
区民公募	せきづか のりえ 関塚 範枝	区民公募
事業者 (指定管理)	さえぐさ まさのり 三枝 正規	知的障害者生活支援施設 レインボーハウス明石 副施設長
事業者	すずき としゆき 鈴木 俊之	障害者地域活動支援センター ポケット中央 施設長
事業者	みずはら すすむ 水原 進	精神障害者グループホーム「ホームつつじ」
社協	あかし まこと 明石 まこと	中央区障害者就労支援センター
区職員	かわの ようこ 河野 容子	区職員 (晴海保健センター健康推進担当係長)
区職員	りゅう ゆきこ 龍 佑企子	区職員 (障害者福祉課相談支援係長)

計13名

## 部会のテーマ・検討内容

「地域生活支援拠点について」

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

### 【開催日時・議題】

開催回	開催日時	開催場所	議題
第4回	令和7年 5月30日(金) 19時～	中央区役所 8階 大会議室	①委嘱状の交付 ②中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に係る実態調査について ③入院患者の地域移行事例について(協議)
第5回	令和7年 12月5日(金) 19時～	中央区立 福祉センター 会議室	①中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に係る実態調査について ②地域移行支援について ③入院患者の地域移行 事例について(協議)
第6回	令和8年 1月26日(月) 18時30分～	中央区立 福祉センター 会議室	(1) 障害者(児)等実態調査について (2) 地域生活支援拠点登録事業所連絡会について(報告)

## 議事要旨

### 第4回 令和7年5月30日(金)

#### ①「委嘱状の交付」

#### ②「中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に係る実態調査について」

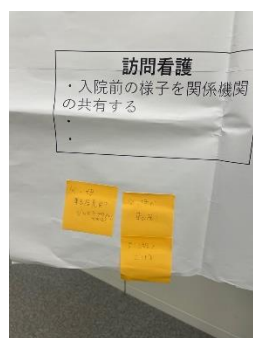
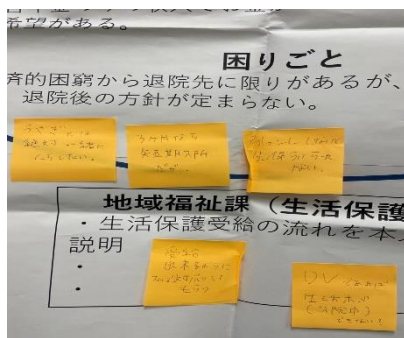
調査項目について事務局より報告した。

#### ③「入院患者の支援事例について(協議)」

昨年度部会にて作成した、中央区の「課題・地域資源」を可視化したワークシートを活用し、中央区での実際の事例における連携先や他の地域資源を洗い出した。

### 【委員からの主な意見】

- ・リヴェール月島にあるグループホーム内にある体験居室を活用し、1人暮らしのスキルの評価を行えるとよい。
- ・病院の主治医との連携がとても重要である。保健センター・保健所と医師との連携、会議の開催等ができるとうい。また、訪問看護・デイケアと継続的に連携していくことも重要である。
- ・中央区内にもっと家族会が増えると、悩みを相談できる場所も増えるのではないかと。



## 第5回 令和7年12月5日(金)

### ①中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に係る実態調査について

回答内容について、事務局より報告を行った。

### ③地域移行支援について

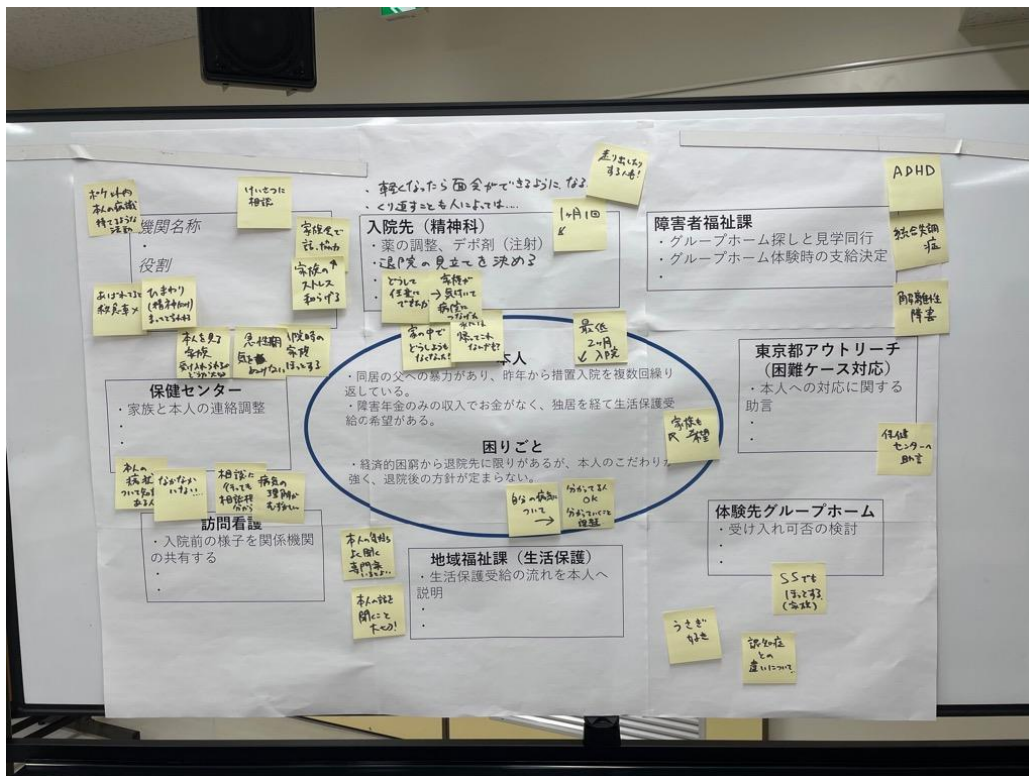
ポケット中央・リヴェール月島より、一般相談・拠点コーディネーターの役割について説明を行った。

### ②入院患者の地域移行 事例について（協議）

ワーキンググループにて、前回の部会内容を踏まえ、ワークシートをさらに改良した。改良したワークシートを用いながら事例を2つ紹介し、実際に地域移行を行う場合の資源の活用方法について協議を行った。

### 【委員からの主な意見】

- ・本人のこだわりや希望が強い中でも、マッチするような通所施設やグループホームを探していくことも必要。区役所の担当者が施設探しに苦慮している場合には基幹相談支援センターも手助けすることは可能である。
- ・本人のできている部分にもスポットを当て、持っている力を生かしていけるような支援ができるとうい。
- ・暴れていると救急車が乗れないなど、医療につながりにくくなる場合もあるので、医療に関して相談できる専門家も身近にいてほしい。
- ・困難ケースについて、東京都アウトリーチ事業を利用し、保健所・保健センターの保健師ががケースのサポートをしてもらえる事業がある。
- ・1人で住みたい等の希望を持っている方が多いのであれば、一人暮らしをサポートしていく資源が必要なのかもしれない。



## 第6回 令和8年1月26日(月)

### ① 障害者（児）等実態調査について

実態調査回答に寄せられた自由意見欄について事務局より報告を行った。

### ② 地域生活支援拠点登録事業所連絡会について（報告）

令和7年度から配置された地域生活拠点コーディネーターの役割の報告とともに、1年間の活動実績と、課題について共有し、部会委員それぞれが課題に対しての解決方法等をグループワークを通して検討し発表した。

#### 【委員からの主な意見】

- ・ 拠点コーディネーターの周知が不足している。民生委員、町会、おとしより相談センターなどを活用し周知すると効果的ではないか。
- ・ 相談支援専門員と拠点コーディネーターとの違いが分かりにくい。拠点コーディネーターの活動内容をもっとわかりやすくしたチラシ等があると有効である。
- ・ 委員が拠点コーディネーターの存在と役割を理解していれば、それぞれの立場から周知をすることが可能である。
- ・ 拠点コーディネーター1人がすべての調整を行うのは無理があるため、地域にあるそれぞれの拠点がどんな役割を担えるのか整理していくと、地域のネットワークができあがるのではないか。

